

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	バルキッズ (児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	令和6年 11月 11日		～ 令和 7年 1月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 4名
○従業者評価実施期間	令和6年 11月 11日		～ 令和 6年 12月 23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	環境 (広いプレイスペースや学習室)	子ども達が学ぶ、遊ぶ、運動する等スペースを確保し、コミュニケーションが取りやすくなる工夫をしています。	スペースが広い事で、激しい運動をする子もいて、安全確保が第一と考えています。プレイルーム以外では走れない様にスペースの配置や柵の設置など順次改善していきます。
2	(子ども及び保護者の) 満足度	保護者様から信頼を得る事が出来るようにニーズの把握や問題発生時の対応について優先順位を高く対応している。	保護者のニーズを優先するあまり、特に声が上がっていない事案 (保護者会や地域との交流など) について、優先順位が下がっている。 サポートの幅を広げる為にニーズのみを優先する事は改める必要があると感じている。
3			

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他の施設との交流や地域の子も達と活動する機会を得られていない。	事業所を開設して1年半程で、事業所内での活動が主軸となり対外的な連携がほとんど取れていない状況です。	地域貢献活動をされている団体のイベントに参加するなど外部と交わりを持てるイベントを企画して少しずつ交流できる場を増やして行きます。
2	支援や活動を行った事を保護者等に伝える手段が少なかつた事。	連絡帳でのやり取りや面談の実施、また問題があるときには電話によるやり取りが中心で、真のコミュニケーションを取る場が少なすぎた。	SNSによる情報発信やLINEでのやり取りを開始しておりコミュニケーションの機会は著しく向上していると思います。 (個人情報の管理には配慮して対応) 今後はイベントを兼ねてお茶会や相談会等を定期的に実施していく予定です。
3			